

令和 8 年 8 月千葉豪雨に伴う 被害状況について

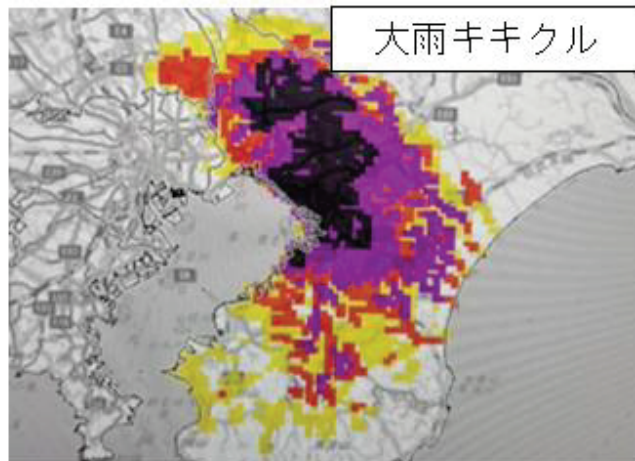
令和 8 年 9 月 1 1 日
千葉市

次第

- 1 令和8年8月千葉豪雨被害の概要
- 2 主な被災における対応
 - (1) 被災車両への対応
 - (2) ライフラインが途絶した集合住宅への対応
 - (3) アンダーパス等の道路地下構造物の浸水への対応
- 3 都市部特有の課題に対する対応

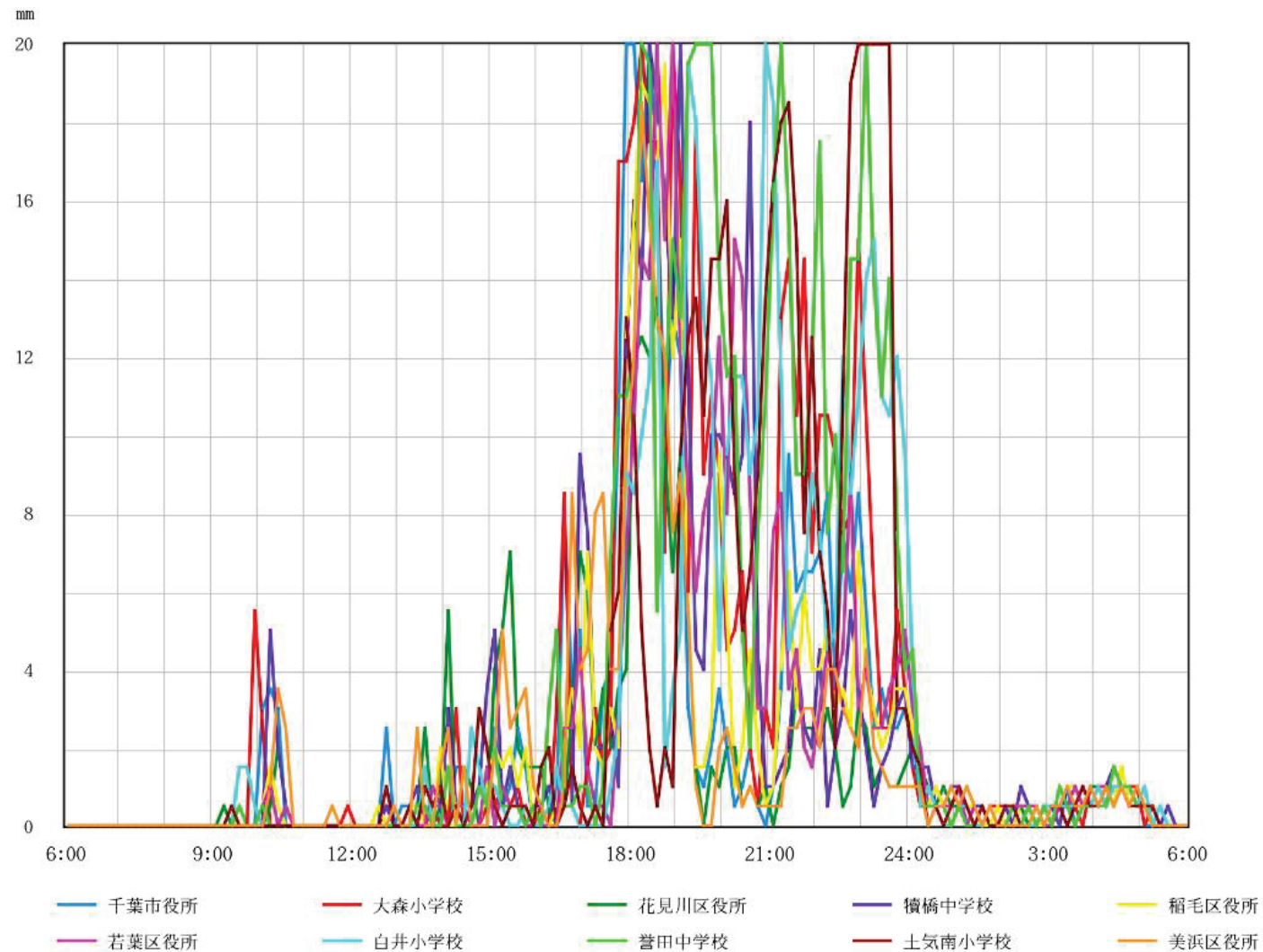
1 令和8年8月千葉豪雨被害の概要 ①

- (1) 発生日時 令和8年8月13日(木)
- (2) 気象の概要 市内各地で60分雨量100mm超え、全国初のレベル5大雨特別警報発表。千葉市緑区では、13日に最大1時間降水量135mmを観測し、降り始めから15日13時までの累計雨量は、585mmとなった。これらはいずれも1966年の統計開始以来の極値を更新した。
- (3) 避難情報 帰宅困難者が多数発生、市施設や県庁等一時滞在施設11か所開設し、約3,700人受入。市内56か所の避難場所を開設し、最大744人が避難。**現在も14世帯16人が避難中（令和8年9月10日時点）**



1 令和8年8月千葉豪雨被害の概要 ②

10分積算雨量 日報グラフ



1 令和8年8月千葉豪雨被害の概要 ③

(4) 被害の概要 (令和8年9月10日時点)

ア 人的被害 死者 6人、負傷者 21人

イ 住家被害 全壊 7棟、半壊 1, 032棟 (床上浸水との重複あり)

床上浸水 940棟、床下浸水 632棟 (一部損壊を含む)

集合住宅のライフライン途絶 22棟

ウ その他道路被害 (全面通行止め) 212か所、断水最大 61戸、
停電最大 69, 590戸、被災車両 約2, 500台

エ 交通機関の運行状況

JR線は、外房線誉田大網間が8月22日まで不通

※千葉都市モノレールは臨時列車を運行、終電以降も運行を継続し、
帰宅困難者を一時滞在施設へ安全に送り届けた。



2-1 主な被災における対応 (被災車両への対応)

<現状>

- 被災車両約2,500台の内、通行の支障となる恐れがあった約500台について、14日から路肩への移動を開始し、休み明けの17日朝の通勤時間帯までに間に合わせた。
(JR外房線の運行停止の代替えバスルートとなる大網街道については、レッカー撤去を同時に行った。)
- 市域全域にわたるレッカー撤去について、17日から開始し、19日には幹線道路、22日には生活道路の作業が完了
- 所有者への返還のため、専用の問合せ窓口を設け、土日含めて対応

<課題>

- レッカー車両移動・保管等に伴い、多額の経費負担が生じている。
- 所有者への引き渡しに時間を要している。



<検討事項>

- 車両の移動・保管等に係る国の財政支援を含めた仕組みの構築
- 車両所有者情報を迅速に把握する仕組みの構築
- 車両の迅速な撤去に向けた仮置き場の確保

2-1 主な被災における対応 (被災車両への対応)



2-2 主な被災における対応

(ライフラインが途絶した集合住宅への対応)

<現状>

- ・ 浸水により地下の電気設備が機能を喪失する等、集合住宅のライフラインが途絶
- ・ 最大で22か所約1,600戸で停電、断水、エレベーター停止等が発生
- ・ 復旧まで1か月以上かかるものもあり、保健師等市職員が訪問し物資提供、健康状態把握、入浴支援の情報提供等を実施
- ・ 居住環境の整った避難所を新たに設置し長期化に対応

<課題>

- ・ 物資の提供等、既存の支援の枠組みでは迅速な支援が困難。



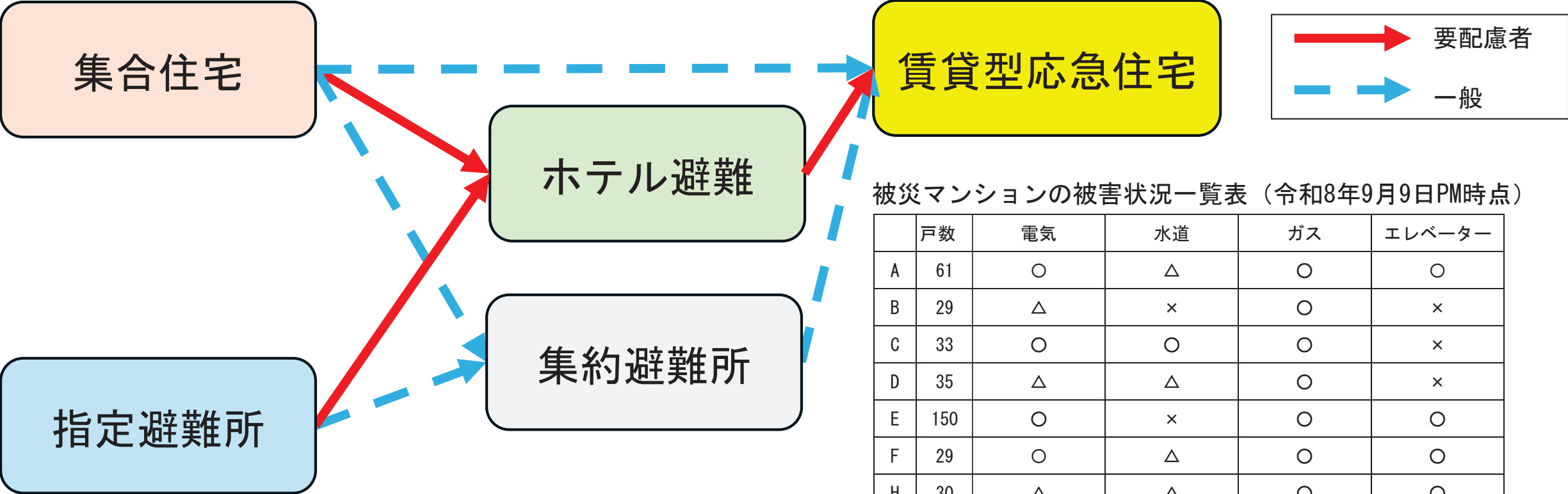
<検討課題>

- ・ ライフラインが途絶した集合住宅の入居者に対し、物資供与や保健師等の職員派遣などの被災者支援に対する仕組みの構築

2-2 主な被災における対応

(ライフラインが途絶した集合住宅への対応)

賃貸型応急住宅への入所フロー



被災マンションの被害状況一覧表（令和8年9月9日PM時点）

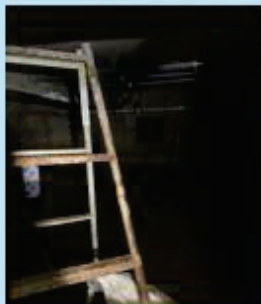
	戸数	電気	水道	ガス	エレベーター
A	61	○	△	○	○
B	29	△	×	○	×
C	33	○	○	○	×
D	35	△	△	○	×
E	150	○	×	○	○
F	29	○	△	○	○
H	30	△	△	○	○
I	32	○	○	○	×
J	33	△	△	○	×
O	63	○	○	○	×
P	72	○	○	○	×
V	9	○	×	○	設置無

2-2 主な被災における対応

(ライフラインが途絶した集合住宅への対応)

停電した集合住宅の対応

電気室の浸水
8/13～



電気設備の浸水
8/13～



停電
8/13～



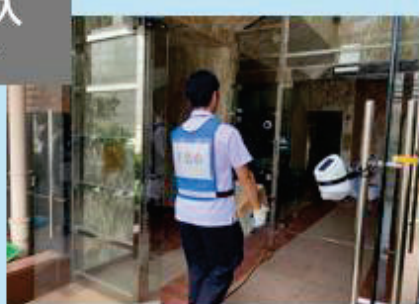
浸水した電気
設備の乾燥



食料品等
物資搬入
8/18～



食料品等
物資搬入
8/18～



食料品等
物資設置
8/18～



蓄電池設置
8/18～



支援制度周知
8/18～



トイレカー設置
(横浜市他提供)
8/18～



避難所開設
8/25～



水循環
シャワー
8/25～



2-2 主な被災における対応

(アンダーパス等の道路地下構造物の浸水対策)

- ・本市が管理する地下道は14箇所あり、全ての地下道に道路情報板は設置しているものの、交通遮断機については、順次設置中（現在4箇所）
- ・豪雨によって、本市が管理する末広地下道で車両水没により1名が亡くなった。引き続き安全対策について検討が必要



3 都市部特有の課題に対する対応

今回の豪雨により、これまでの風水害の対応に加えて

- ・ アンダーパス部の浸水や道路冠水による大規模な交通障害
- ・ 集合住宅のライフライン途絶
- ・ 公共交通機関の遅延・運休とこれに伴う多数の帰宅困難者の発生等

都市部特有の課題が顕在化し、対応について検討していくことが必要